

# かわらONE通信

季刊誌 (年度4回発行)  
発行責任者: 宮長定男  
発行日: 平成25年5月1日

発行元 日本認知症グループホーム協会 東京都支部  
連絡先 〒171-0014 豊島区池袋3-5-9-4 (社) 泉湧く家気付 TEL: 03-5911-1264 FAX: 03-5911-1268

## 新しい公益社団法人へ! 協会役員選挙に向けての 支部臨時總會終わる

協会が公益社団法人となって2年、協会理事、代表を選出する代議員等を、初めて選挙で選ぶ東京都支部總會が、去る3月22日新宿文化センターで開かれました。



東京都支部臨時總會で防火安全対策特別講演を行う佐竹東

總會は、都内の正会員 39 法人が参加され、表決の結果代議員には佐藤弘、田寺儉治の両氏が、支部推薦の協会理事候補には宮長定男氏が選出されました。

今回の協会總會は、6月14日に開かれますが、全国理事、代表理事共に、全国の都道府県支部から選出された65名の代議員の選挙により選ばれるものです。

これは、国の認可を受けた公益社団法人として、運営の公平性、透明性を確保する法令に基づき、協会の定款による初めての選挙となります。

このように、協会は「公益法人」としての新しいスタートを切る事となります。

また、東京都支部は、これまででも会員による選挙で役員を選出していましたが、今回の選挙では7名の理事、1名の監事が、会員の表決による圧倒的な信任で選出されました。

理事会の協議により、東京都支部長には宮長定男氏(再任)、副支部長には安藤高夫氏(再任)、櫻井眞里氏(新任)が就任しました。

また、5月22日の定時支部總會では、24年度事業報告や決算、特別報告会が予定されています。

## 特別講演「GHの防火安全対策」 東京防災救急協会佐竹副理事長、 東京消防庁職員が講師に

支部總會には、長崎市のGH火災をうけて、講師をお招きしてお話を伺いました。東京消防庁からは、自分の施設の防火対策の弱点をチェックする「小規模社会福祉施設の防火安全対策」の新しい「シート」が配布され、「普段からこのシートを活用してほしい」と話されました。(チェックシートはご連絡があればFAXします)

特別講演で、防災救急協会佐竹副理事長からは、群馬県渋川市の「たまゆら」火災の有罪判決の内容を資料に、どのような事実を認定して「業務上過失致死」事件として、理事長の有罪判決が下されたかを明らかにしました。

平素からの火災発生時の避難訓練、火災通報装置の完備、職員の配置等の管理運営責任を認定し、理事長の有罪判決となったことが資料により説明され、注意が喚起されました。そして、経営層が、こうした判決内容を理解し、防火安全対策に努めることが、極めて重要と強調しました。

## ～群馬県「たまゆら」火災判決から 火災で問われる経営者責任

### 東京都支部新役員体制

支部長	宮長定男	社会福祉法人泉湧く家
副支部長	安藤高夫	医療法人社団永生会
副支部長	櫻井眞里	社会福祉法人櫻灯会
理事	大畑きぬ代	NPO 法人中野の和
理事	田寺儉治	NPO 法人
		新しいホームをつくる会
理事	中嶋直美	株式会社サンハート
理事	林 雅樹	株式会社
		ジャパンケアサービス
監事	佐藤 弘	株式会社 佐藤総研
		(任期は、25年5月～27年4月まで)

## 東京厚生信用組合

- ◎ 福祉・医療・環境衛生・地域の金融機関です。
- ◎ グループホーム・サ高住向け融資商品取り扱っております。
- その他事業性融資・預金等お気軽にご相談ください。

お問い合わせはこちらまで

0120-294-805

長崎市で火災が起きた日の数時間前、2月8日の午後、宮長東京都支部長ら役員と、東京防災救急協会幹部らが、東京都福祉保健局中山高齢社会対策部長を訪問、防火安全対策の申し入れを行いました。

これは、昨年10月から開始された東京防災救急協会の「防火実務モニター講習」が25年度から正式にスタートする事を受け行ったものです。

防災救急協会の予定では、一人当たりの受講料が5千円となる事や、会場が限られているため遠方からの受講が困難なこと等の問題点を解決する必要があり、東京都の援助を申し入れたものです。

東京都の中山高齢社会対策部長は、「こうした実務的な講習は極めて大切だ。25年度からすぐというのは困難があるが、都としては前向きに検討したい」と応じました。

東京都支部は、GHの事業者団体として、都内すべての経営者に全力で働きかける決意を述べ、

この日の要請を終わりました。

その後、東京都は正式に担当窓口を決め、ただちにGH協会と防災救急協会からヒアリングを行い検討しています。

支部役員会は、東京都の支援の実現と、今後の講習会の受講を進めるために活動します。

## 関東甲信越ブロック主催

# 認知症 GH の実践発表会～長谷川和夫先生講演

2月12日、横浜のウイング横浜を会場に開いた実践発表会は、参加者が108名、実行委員会の要員を含めると150名を超える参加者で大成功に終わりました。

この発表会は、関東甲信越ブロックが初めて開き、継続した開催が予定されています。

第一部では、認知症介護研究・研修センターの名誉センター長、長谷川和夫先生からの講演をお聞きしました。長谷川先生から、GHの認知症ケアへの期待が熱く語られ、「ケアする人の思いと行動によって、ケアされる人の人生は変わる」との指摘に、「介護職の責任の重さを感じた」「感性を磨く、センスを磨く」との先生の指摘に、心して考えたい」等、沢山の感想が寄せられました。

参加者『先生の話に勇気をもらった』

## 豊島区との協定第1号 オーナー型事業物件に 協会会員の公募始まる！ 【すでに都内各所から、協会に物件が】

昨年11月、豊島区と日本GH協会(東京都支部)との協定に基づくオーナー型の事業者公募が始まりました。

「地域密着型サービス拠点等の整備推進に関する協定」は、認知症GHからサービス付き高齢者住宅まで幅広く高齢者福祉の拠点整備するためのもので、すでに豊島区をから、都内各区の土地、建物をお持ちで事業に活用したいとの申し出が5件寄せられています。

協会支部は、第1号物件板橋区東新町を先日公募しましたところ、都内の会員5法人から応募がありました。4月30日にはオーナーも参加しての現地見学・説明会が行われました。



現地見学会で建物などを視察

今回の物件は大変大きな敷地と建物で、中庭もイベントが出来る広さです。建物周辺の庭も、駐車場にも菜園にもできる空地です。数年後には、総合的な高齢者施設が期待されます

5月24日には、プレゼンテーションが行われ、事業者が決まる予定です。

会員の皆様には、第2号以降の物件情報が順次送付される予定です。

第二部は、ブロック内の11演題が発表され、それぞれに短時間でしたが質問の時間も設けられました。

感想は、実に多くの声が寄せられました。「この様な実践発表会を初めて聞いた、とても勉強になった」「自分のホームとスタッフのあり方を考えさせられた」「少し前まで転職を考えていたが、参考になり感動した」「とてもレベルの高い事例発表でとても勉強になった」等などで、参加者の満足度の高い事が示されていました。

次回の実践発表会は、来年2月、千葉県で開催予定です。

第4回日本認知症グローブホーム大会  
開催 10月4日(金)、5日(土)  
岩手県盛岡市 地域交流センターマリオス  
参加・発表の準備をしましょう！